

平成二十九年 度

玉東中学校 便り

文責 田河  
第十三号



# 「希望の虹」

平成三十年一月十五日

## 新しい年のスタート

平成三十年が始まりました。昨年末、「そっか、もう平成三十年か」という嵐の年賀状のCMをやっていました。子供たちには実感はないかも知れませんが、私たちの世代にとっては、本当にあつと言つ間の三十年でした。感慨深いものがあります。天皇陛下の御譲位も決定し、今年は大きな節目の年になります。

冬休み明けの集会、校長の話では「目標の持ち方」という話をしました。『よきライバルを持ち、互いに負けないと切磋琢磨していくやり方』『人との競争より、昨日の自分を超越えることに重きを置くやり方』いろいろな目標の持ち方がそれぞれにあっていい。志を高く持ち、挑戦して欲しいと伝えました。

子供たちには節目の年の始めにあたり、気持ちを引き締めるとともに、ぜひ大きな志を抱いて進んで欲しいと思います。

## 「平成三十年度入試スタート」

いよいよ平成三十年度入試が始まります。皮切りは玉名荒尾地区の私立高校の専願・奨学等です。来週は熊本市内私立高校、そして二月一日の公立高校前期へと続いていきます。三年生にはしっかりと体調を整え、自分の実力を全て発揮してもらいたいと思っています。



## 郵便局から3年生への激励

十日(火)木葉郵便局、山北郵便局から局長様が来校され、3年生に対し「入試に向けて一杯頑張るように」との激励がありました。また、合格祈願の品として鉛筆・付箋紙のプレゼントをいただきました。地域の皆様からの心遣い本当に有難く思います。きっと、三年生は期待にこたえてくれると思います。



激励鉛筆の贈呈



鉛筆と付箋紙

## 席書大会

一月一日、なかなか気温が上がらない中でしたが、今年の書き初め「席書大会」が行われました。生徒たちはそれぞれの課題に対して、手本を横に置き、集中しながら取り組んでいました。

一年生は「栄光」、二年生は「雲海」、三年生は「創造」を書きました。思い通りに書けた人や、作品はなかなかの出来映えに仕上がっていました。



## 心の栄養となる言葉⑩

「風が一番高く上がるのは、風に向かっている時である。風に流されている時ではない。」

ウィンストン・チャーチル(清治家)  
(十代のための座右の銘 大泉書店より)